

二四八名計五九一名ニシテ遂日増加ノ傾
向アリ其内譯ハ左記ノ通ナリ
内譯

イ、造船部 小頭 六名
大頭 三三名
職工 二四名

右及申(通)報候也

特秘第一六六五號

大正十一年七月四日

大政府知事 池松時和

内務大臣 齋藤 水野 鍊太郎殿
海軍大臣 加藤 友三郎殿
農商務省 工務局長 殿
警視總監 京都 兵衛 殿
神奈川 廣島 長崎 愛知
福岡ノ各廳 府縣 長官 殿
大政地方裁判所 換事 正殿

大政鐵工所 職工大會ニ
關スル件

題記ニ場爭議ハ形勢逐日 業團ニ不
利ナルヲ以テ既報ノ如ク 最後ノ態度